

令和4年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要
(「指定管理者募集要項等」に係る審査)

1 開催日時 令和4年7月8日(金) 10:39~10:53

2 開催場所 青森市役所 議会棟4階 第1委員会室

3 対象施設 青森市荒川市民センター

4 出席者

(1) 選定評価委員 委員長 舘山 公 (企画部次長)
副委員長 工藤 拓実 (総務部次長)
委員 松本 大吾 (青森大学准教授)
委員 西村 晴夫 (東北税理士会青森支部税理士)
委員 木村 久美子 (市民部次長)
委員 加福 拓志 (福祉部次長)
委員 小笠原 聡 (浪岡振興部次長)

(2) 施設所管課 (中央市民センター)

館長 奥崎 和彦
主幹 工藤 伸彰
主幹 肥後 奈穂子
主査 村上 和明

(3) 制度所管課 (財政課)

副参事 阿部 有一郎
主幹 宮崎 恭次
主査 櫻田 博光
主事 小山内 崇起

5 案件 「指定管理者制募集要項等」に係る審査

6 審査結果

地元住民団体が担い手となることで市民センター事業の企画や施設運営に地域住民の声を生かしやすく、また、地域の特性を生かした事業展開が可能となること、地域のコミュニティの場としての活用が図られていることから、青森市荒川市民センター管理運営協議会(青森市荒川市民センター)を例外として公募によらずに指定管理者候補者として選定を行うこととする。

応募要項（案）への指摘事項を修正後、選定を行うことについては、全委員異議なく、全会一致で了承された。

7 主な質疑内容

委員：市民センター毎に講座の回数が違うのはなぜか。

施設所管課：今回更新する市民センターのうち荒川市民センター以外の市民センターは、年末年始と年度初めを除く週1回程度の実施想定での50回と地域力アップ講座3回で年53回としている。荒川市民センターは過去の開催実績から算出した82回と地域力アップ講座3回で年85回としており、その回数を仕様書に記載している。

委員：仕様書に記載されている回数は、実施する講座数の最低ラインで、荒川市民センターは85回だが、他の市民センターは53回となっており、それぞれ所要経費を基準額に見込んでいるということでしょうか。

施設所管課：そのとおりである。

委員：清掃業務について、清掃員を直接雇用しているのか。

施設所管課：令和3年度に清掃業務を委託する際、見積額が前年度の契約額に比して大幅に上昇していたことから、コスト削減のため、令和3年度から一般清掃分について清掃員の直接雇用としている。

委員：清掃員は、平日に7時間も勤務する必要はあるのか。

施設所管課：荒川市民センターは、部屋数が多く、トイレの数も多いことから、清掃する範囲が広く、時間を要するためである。

委員：荒川市民センター管理運営協議会は、現在非精算方式を採用しているが、今回の更新でも非精算方式を採用するつもりなのか。

施設所管課：今回の更新においても、非精算方式を選択する予定であると、荒川市民センターから聞いている。応募要項には選択できる旨記載している。